

黒川地区周辺の清掃活動から学ぶ生物多様性！

—明治大学農学部黒川新農場（仮称）整備計画—

戸田建設株式会社（社長：井上舜三）は、9月15日に現在工事中の「明治大学農学部黒川新農場（仮称）整備計画」（神奈川県川崎市麻生区）作業所周辺において、明治大学農学部の倉本教授と連携し、地域の自然環境の保全を図る清掃活動を実施しました。



写真1 清掃活動の様子



写真2 清掃活動に参加した社員

1. 里山環境の保全活動

当社では環境保全活動に積極的に取り組むことを目的とし、環境ボランティア活動を全国的に推進しています。今回は当社のECO・リーダープロジェクト※1の提案により、本社、横浜支店及び当作業所に勤務する17名の社員が、黒川地区周辺の里山環境を保全するため、小田急線黒川駅から作業所までの沿道及び木陰のある林道と併せ約4.7kmの清掃活動を実施しました。

また、清掃活動だけでなく、生物多様性について社員に学んでもらうことも目的としており、倉本教授からの①生き物の交通事故、②捨てられた缶に引き寄せられる生き物、③路肩の自然保護、④谷戸の地形と生態系の4つのポイントについての指導のもとに、社員がゴミ拾いととも、空き缶に入っている虫の種類や、清掃中に見つけた虫の死骸などを調べました。この地域に生息する生物のこと、またゴミによって本来の環境が壊されてしまっていることを知ることができました。

※1 ECO・リーダープロジェクト：女性社員を中心とした本社、支店単位で構成する全社エコ活動推進のプロジェクト

2. 生物多様性への取り組み

この川崎市黒川地区は農業振興地域に指定されており、斜面の雑木林の緑と谷底の水田、畑、小川が織り成すモザイク状の景色が美しい自然豊かな里山です。現在、今年で創立130周年を迎える明治大学の記念事業として、当建設工事は12月竣工を目指して進めています。

生物多様性の豊かな里山環境の創造的再生の手法を確立するために、倉本教授の指導のもと、環境に応じた生物の保全とその研究を2014年3月まで、当社と明治大学との共同研究を行っています。



写真3 明治大学黒川新農場作業所とその周囲



写真4 新農場本館とエコ温室の完成予想図